

成人向

蜉蝣の焰





2011年出した本の再録です

蜉蝣の焰



哀れすぎて
何も言えんな

負け犬なら負け犬らしく
惨めに尻尾を巻いて
逃げ出せばいいものを



もしここで
逃げ出せば……

そう、うわいとのまじり
言い放ったとき

あなたの眼の
中に灯る
その焔に

俺の心の中にある
大切なものを
裏切ることになる……

わたしは――
……

一さん、お茶が
入りましたよ

ああ

また、その絵を
見てらしたんですね

でもそのお気持ち、
わかります

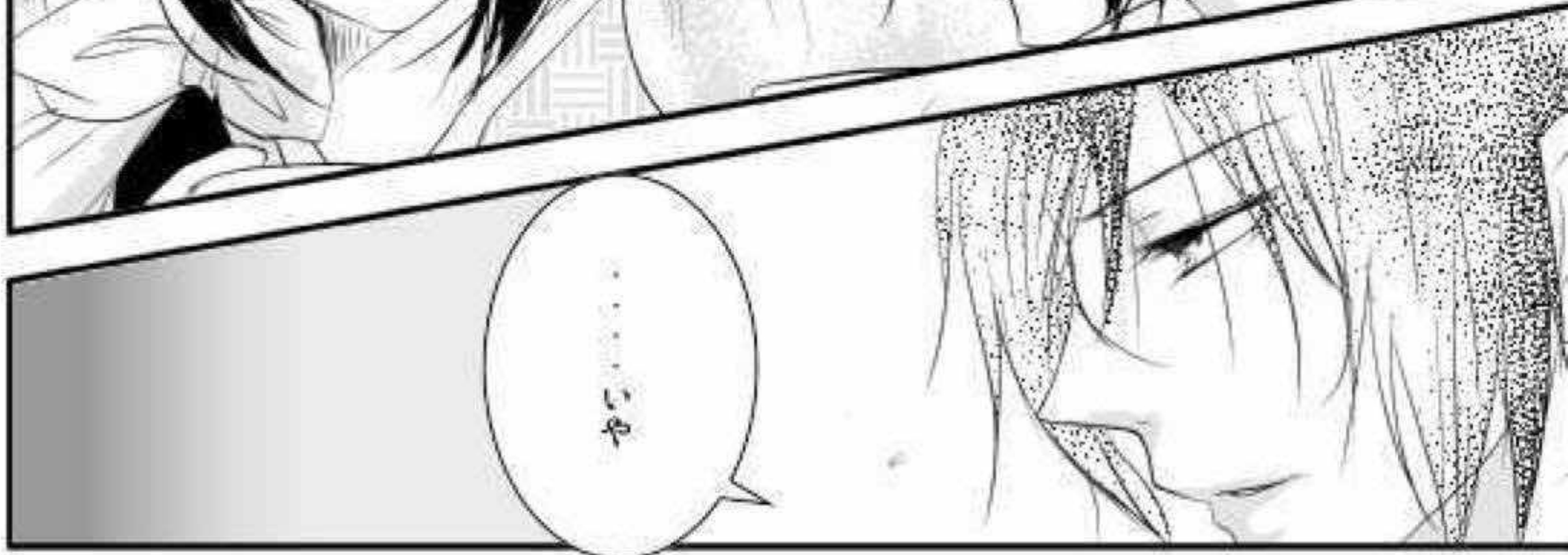
何度見ても
すばらしい絵
ですから







もし、俺が……



……から



使わなくなつた刀の
手入れをしたり

このごろ、一さんは
休みの日になると

なんでもない——



井吹さんの絵を
取り出しては
見つめたりして

遠くを見るような
目をするようになった



そんな姿を見るたび



わたしの心は

少しざわついた

はー疲れたあ



今晚は
うちの家で
飲むか

いいのかわか
急に行つて
嫁さん怒らないのか

みんなの分も
オレがあとで
怒られておくよ



...いや、俺は...

やめとけやめとけ
どうせ誘つても
こいつはこねえよ



奇藤もたまにはどうだ？



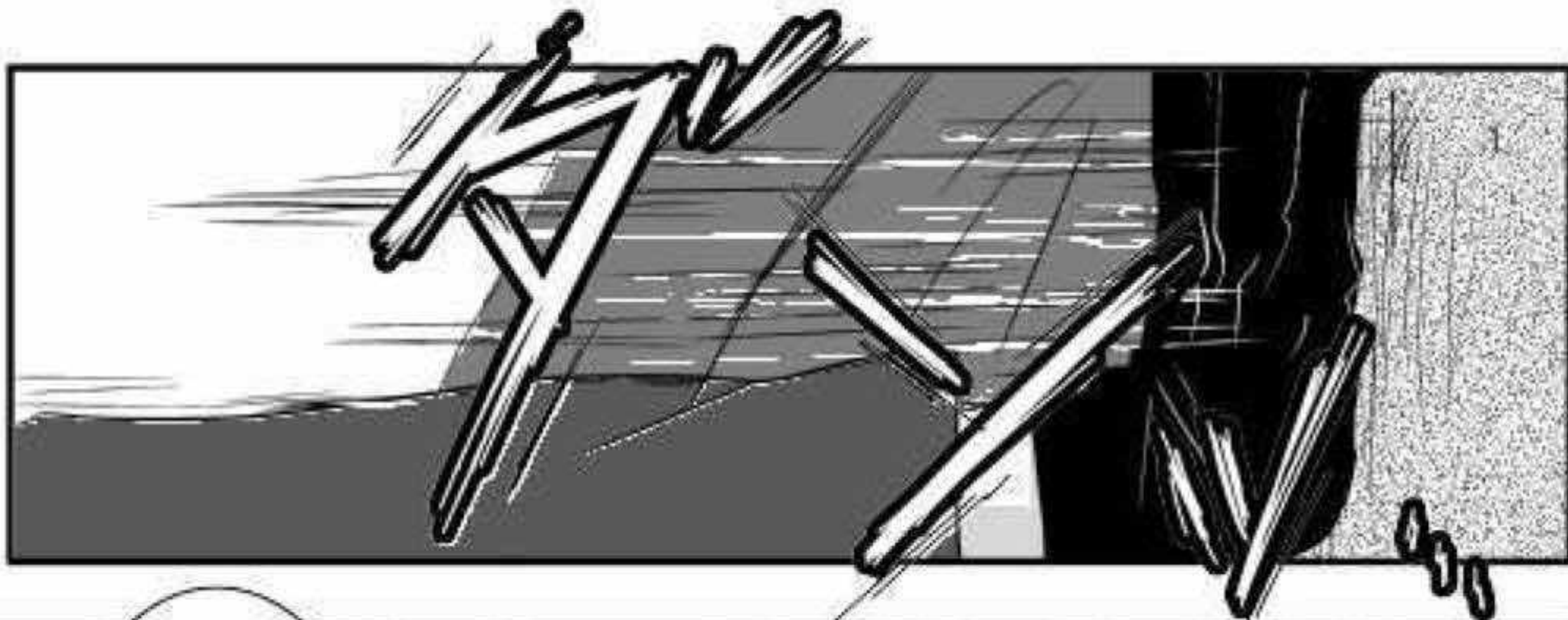
元新選組だかしらんが
お高くとまつてやがる

本人たちは
武士のつもろが
だつたらうが

所詮は
なりそこないの
集團のくせに



...



……今の言葉、

撤回してもらおう



俺はなんと
言われてもいい

だが、

新選組の悪口だけは
許すわけにはいかぬ





わ、わかったよ
すまなかったよ

何をやってるのー！

職務中ではなくても
職場での
乱闘は法度だよ



今のはさすがに
お前が悪いぞ

...あーっ

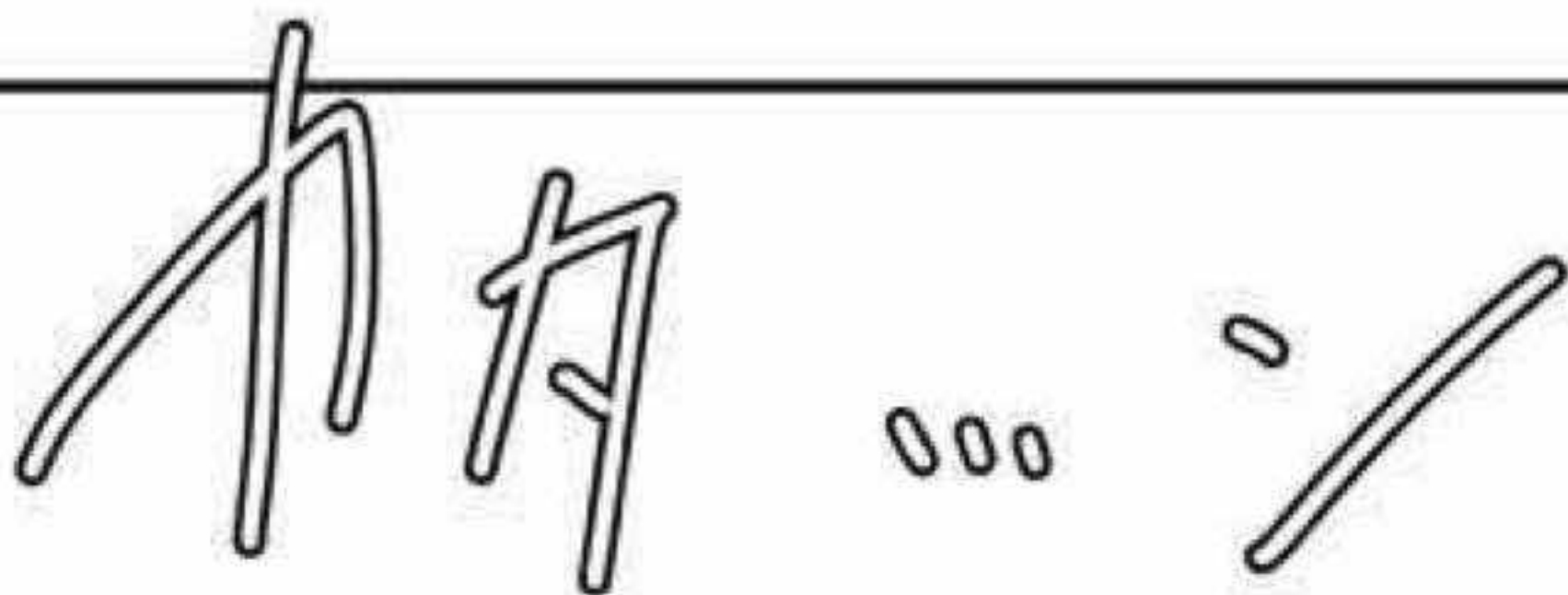
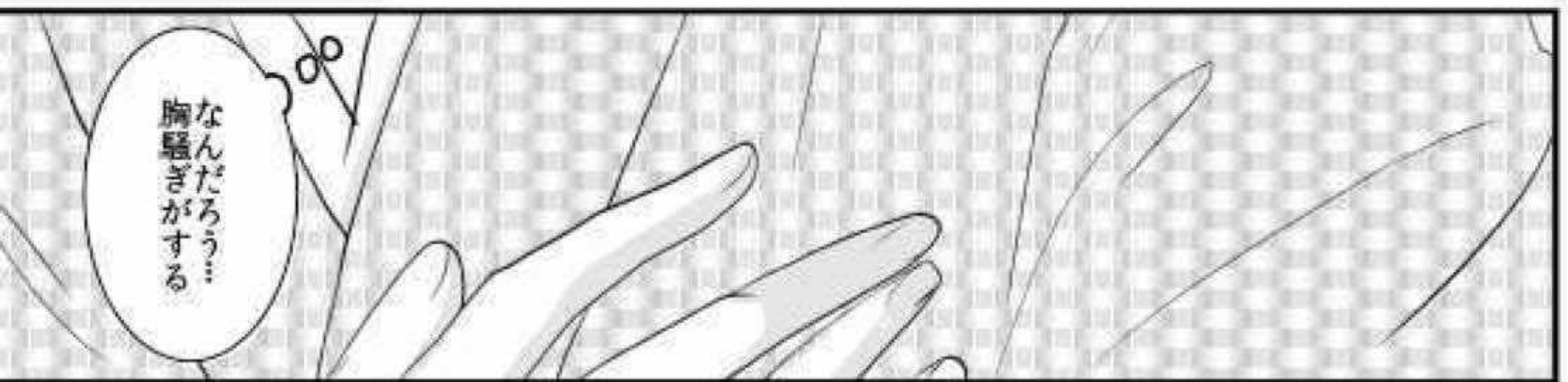
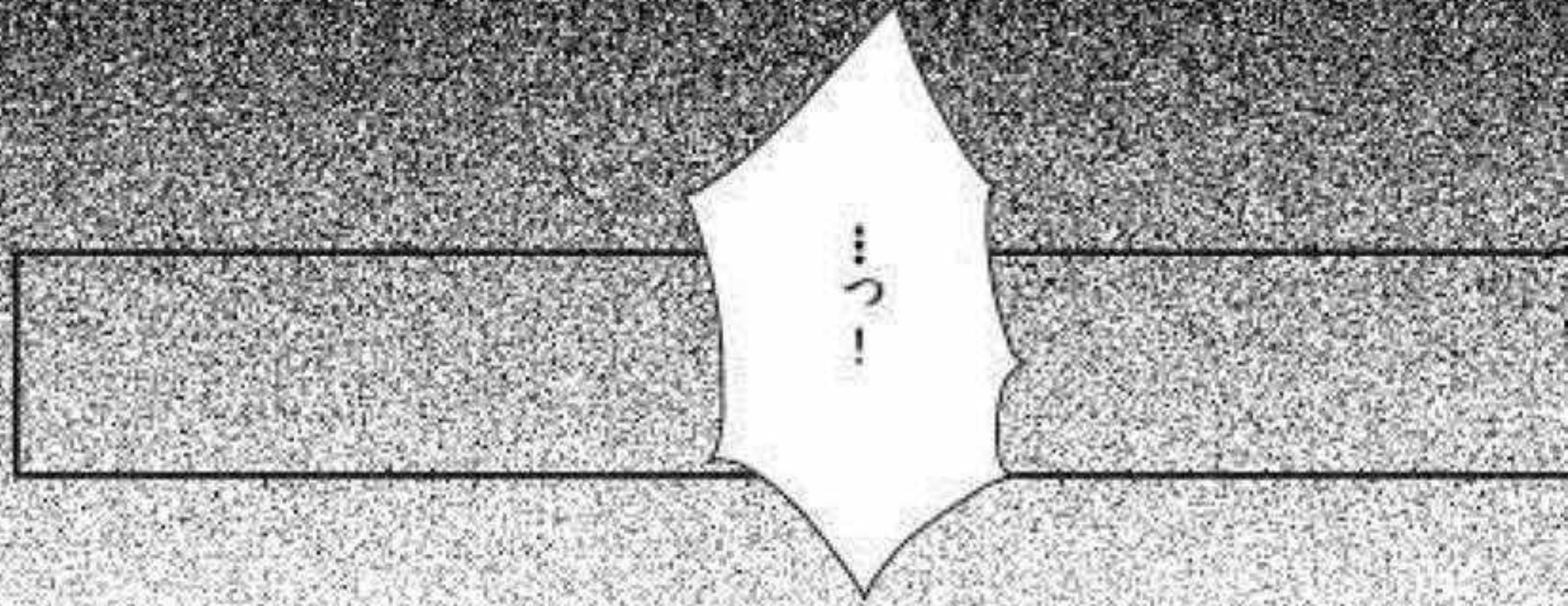
え？

時々、獣の眼を
しやがる...



...そうか、俺の
中ではまだ！

過去にはなつては
おらぬのだな...





…！何？…！



…！さ…！…！

…！…！



大丈夫ですか？

このごろは
なかったのに

…羅刹化…





は……

……



おねがいします
—さんみつ!



今からわたしの
首を
斬りますから

手から飲んで
いただけないなら



その返り血を
浴びてください!



いいえ!
飲んでください……



俺の言うことなど...っ
聞きはしないのだな...

...お前は
や...はり...っ



...っー
す...まな...い
千鶴...っ!



...っ





一さんに苦しんで
ほしく
ないんです

…何を言っ
てるんですか

…わたしだっ
て同じです

一さんが苦しまずに
済むなら

血くらい何度だって
さしあげます



刀を持たなくなつてから
ずっと不安だった

……

俺は



……
心がついてい
なかつた
ようだ

刀がなくとも
武士でいられると
頭ではわかつていた



「さんはそれで
いいんです



「情けないな



「いいえ



…もし、この先

あなたが
刀を再び
持たねば
いけないと
決める日
がきたとき

わたしは、黙ってあなたの
後ろについてゆきます

だから、これから
一さんは、一さんで
いてください



…千鶴



俺は、お前を生涯の
伴侶として
選んだことを
誇りに、思う――



…っ



…っ 千鶴…っ



…っ 無理を…っ
するな…っ！



…ん



…すみません、へたくそで…



いや…



俺の体調のことを気遣っての

お前の気持ちはありがたいのだが



…わかりました

…

では…



すこし、じっとしててくださいね



…このままでは

俺が羞恥で死んでしまいそうだ





むしろ嬉しい。



お前に求められて
いるのだなと思える。



俺は、お前のどんな姿を
見ても、呆れたり
嫌ったりは
決して、しない。

…だから
今日は、お前の
乱れる姿を
見せてくれ





——あの日、

自身をも焦がしながら
燃えるような

はい。

その儚いまでの
焰を見たとき



わたしは、この焰になら

灼かれてもかまわないと



そう、思っていました





…お前は、意外と…

大胆だったのだな



そそそれはっ
—さんの前だけですから

いや、そうさ
なくては
困る…

あゝ
あゝ



…だが



ここからは
俺の好きにさせて
もらおう



あなたの焔に
焦きつくされ

灰になるまで。